

第49回 真庭市地域公共交通会議分科会次第

日時：書面開催

場所：

1 開 会

書面開催による

2 分科会長あいさつ

書面開催につき、割愛

3 協議事項

(1) 枝線北房ルートの勝山延伸(案)の検討について資料 1

4 その他

5 閉 会

枝線北房ルート of 勝山延伸(案)の検討について (資料説明)



北房ルートの勝山延伸案

資料1

○枝線北房ルートの改正 (北房勝山間のルート構築)

北房地区が勝山高校学区へ調整されたことによる直通のルートを構築する。構築(案)として、枝線北房ルートを朝・夕の1便ずつ勝山駅まで延伸し、昼間の時間帯を従来通りの運行とする。

・ルート延伸のメリット

①北房地区から直通ルート構築による通学利便性と市内進学率の向上

現在、北房地区から勝山高校への通学方法はまにわくん及び落合駅から姫新線を利用。直通となれば乗換不要となり、時間が短縮。また、北房地区は備北学区として高梁高校へも進学しているが、勝山高校への進学増加は市内高校進学率の向上にも繋がる。

②通学費負担の軽減

現在、北房地区から勝山高校への通学方法はまにわくん及び落合駅から姫新線を、高梁地区へは、備北バスを利用している。直通ルートの構築により、通学費用も従来より軽減に繋がる。

③枝線北房ルートの延伸とし、同ルートの利用率の改善と運行経費の抑制

新設路線の開設より、枝線北房ルートを改良することで、利用者数の増加と運行経費の抑制に繋げる。同ルートは今年度の改正により、運行時間が短縮したことにより、朝夕の勝山延伸が可能であり、車両や運転手確保も共有できるため、運行経費の抑制を図る。

○既存幹線と「北房勝山」ルート

ルートの地図(案)は資料1のとおり。砦部と中国勝山駅のバス停を起点終点とし、美川橋を經由し、国道181、313号線と県道新見勝山、勝山栗原線を走行する。

○時刻の設定

所要時間は約45分。朝7:15分砦部発⇒8:00分中国勝山駅着、夕方16:20分中国勝山駅発⇒17:05分砦部着
午前と午後の1便ずつ運行

検討の経緯

資料2

○県立高校の学区再編

令和3年3月19日付けで高校教育課より岡山県立高等学校の校地整備方針及び学科の設置等について公表があり、真庭高校の学科が再編され、普通科が無くなった。北房地区では、市内の普通科高校の進学において学区外となってしまうことに対して、普通科進学を確保するため、同日付け、教高管第732号による通知によって、北房地区が勝山高校の調整学区となることが決定した。

○市内学校別R2・R3進学状況及びR4進学希望調査

中学校別のR2・R3進学状況及びR4の進学希望(4月に実施)を提示(※資料2の表はこの会議のみ使用につき、取り扱いに注意してください)。北房地区では、現在5名が勝山高校へ進学しており、来年の希望者は6名となっている。また、高梁市内への進学希望者は12名いるが、今後の進路検討によっては、勝山高校へ変わることも考えられる。さらには、ルートを構築すれば美川・関地区からの利用も考えられる。

スケジュール

資料3

○今後のスケジュール

- ①今回書面開催の分科会で改定案の意見を伺い、委員の皆様へ周知を図ります。
- ②9月議会で文教厚生委員会へ説明後、中学高校へ示して、進路説明時に生徒へ周知を図ります。
- ③令和4年度当初予算へ計上します。
- ④12月もしくは2月頃、公共交通会議(本会議)を開催し、改定の承認を行います。

県立高校の学区再編

○県立高校の学区再編について

令和3年3月19日付け教高第732号による通知により、北房地区が勝山高校の調整学区となることが決定。



○北房勝山間のルート構築について

構築検討の理由

- ①北房地区の勝山学区による通学の利便性向上
- ②市内の高校進学率向上
- ③枝線北房ルートの利用率の改善

岡山県立高等学校の通学区の変更について

- 1 趣旨
真庭高等学校の複数校地解消に伴う学科改編により、令和4年度に同校普通科の生徒募集を停止する。このことにより、真庭市北房地域（旧北房町）から学区内出願できる同一自治体内の県立高等学校普通科がなくなることから、進学機会を確保するため、勝山高等学校の調整区域を変更する。
- 2 変更内容
備北学区である真庭市北房地域（旧北房町）を、勝山高等学校の調整区域とする。
令和4年度岡山県立高等学校入学者選抜から適用する。
- 3 その他
令和3年3月 教育委員会規則の改正、変更内容の周知

【市内学校別R2・R3進学状況及びR4進学希望調査：取り扱い注意・この会議でのみ使用】

※R2・R3は進学者数、R4は進学希望者数

	北房中			落合中			久世中			勝山中			湯原中			蒜山中			計		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4															
勝山高普通科	3	1	6	28	36	33	20	24	30	23	26	34	5	3	8	6	18	12	85	108	123
勝山高ビジネ	0	1	-	3	5	-	12	9	-	6	11	-	7	5	-	9	5	-	37	36	-
勝山高蒜山校地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	4	1	6	7	8	7	13	10
真庭高普通科	6	7	-	14	15	-	3	3	-	7	7	-	0	0	-	1	1	-	31	33	-
真庭高農業2科	4	2	-	12	13	-	20	16	-	7	3	-	3	0	-	0	0	-	48	34	-
真庭高看護科	0	2	1	9	3	3	4	1	0	0	4	1	0	0	0	2	0	1	15	10	6
真庭高ビジネ	-	-	0	-	-	8	-	-	2	-	-	1	-	-	1	-	-	0	-	-	12
真庭高食農生産	-	-	2	-	-	11	-	-	14	-	-	5	-	-	1	-	-	0	-	-	33
津山市内	11	6	10	40	34	37	28	42	41	16	8	5	1	4	5	14	11	14	155	105	112
高梁市内	9	4	12	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	12	6	14
その他	7	6	9	12	7	3	7	18	9	6	2	11	2	0	4	2	4	9	36	37	45

今年度の今後のスケジュール



○R3今後のスケジュール

- ・議会・・・複数年契約による実施を検討するため、実施に向けて文教厚生委員会への説明を行い、12月議会での債務負担行為の議決を得る予定。
- ・予算・・・R4年度の当初予算で予算要求する。設計に基づき実施に必要な予算を要求する。同時に債務負担行為の手続きも行う。
- ・交通会議・・・8月～9月に分科会を開催して、実施案について、事前に検討の場を設け方向性を示しておく。実施の承認については、12月もしくは2月ごろに本会議にて承認を得る予定。
- ・高校・・・実施案について、高校側への提示し、協議を行う。必要に応じて複数回協議も想定。実施案について資料提供し、募集定員や進学案内へ活用してもらう。
- ・中学・・・従来、卒業間近で配布していた通学案内などの情報を10月ごろの進路説明で活用できるよう検討していく。3年生の進路希望を把握するとともに、進学意思が固まる10月ごろまでに実施案についての資料提供実施予定。

※事業者・・・実施案において、既存ルート変更の場合は、現契約事業者と変更契約を行う予定。R4年度当初から実施に向け契約実施。

○R4以降の予定

3年間で高校の学科再編が完了するにあたり、引き続き中学高校と必要に応じて協議を行い、通学の利便性向上に向け検討していく。

北房地域 枝線ルート図

勝山大橋から平金坪までのバス停については、「JR」及び「幹線新庄久世ルート」利用と重複する可能性もあり、設置の有無を精査する必要がある

① 北房ルート

—	中国勝山駅方面	月～金 運行
—	阿口・樽見方面	月・水 運行
—	井殿・能楽方面	火・金 運行

